

「光を探し求めた3人の子」

作：THREE FLAGS

語り：佐藤浩市

親と子だけの世界では
息苦しいと感じてしまう暗闇の中で
「光」を探し求める子供たちがいます

今日も嫌な思いをするんだろうな
目が覚めて毎日思うこと
そしてやっぱり 最悪なことが待っている
それでも毎日毎晩 眠りにつくころには忘れてる

子供の私には
どうすることも出来ないけれど
少しずつ
自分の力で押しのけて
助けを借りて押しのけて

今日こそは良いことがあるだろうと
思えるようになるころの君は
きっと大人になっている

I love you, I need you, I miss you.

お母さんの声は耳の奥に残っている
儂い欠片のように
私の心の中で静かに響いている

お父さんが近づいてくる足音も耳の奥に残っている
暗闇の中で鈍い音が響いている

時が止まったかのような静寂
窓から一筋の光が差し込むころ
タバコと酒の匂いを纏ったお母さんの腕枕で眠る

心が割れゆく音を静かに包み込んだ言葉 I love you
この言葉に込められた意味を知ったとき I need you
遠い記憶の欠片を愛おしく抱き締めた I miss you
大事なこと 大事な場所は 今もここにある

私がこの世界に誕生したとき
2人はどんな気持ちだったの？
愛おしく感じてくれた瞬間が
1秒でもあったのかなあ

お父さんお母さんに愛されなくても
私は新しい出逢いに恵まれ
沢山の人たちから愛されている

だから自分の人生を
愛することも出来ている
ひとりでは決して生きてこられなかったけれど
出逢った人達からの愛情で
心がいっぱい満たされれば
きっと誰でも幸せになれるはず

子供は親を選べない
親も子供を選べない

だからこそ信じて欲しい
親と子だけの世界では
息苦しいと感じてしまう暗闇の中で
あなたが差し伸べる
その手こそが「光」となるのです